

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52306	保育内容(言葉) Child-care Contents(Language)	神谷 典子	専門	1	必須	1年 前期
科目の概要						
言葉は人の育ちにおいて重要な役割と意味を持つ。子どもが言葉を獲得し、活発な言語活動ができるようにするために何が重要なのかを理解する。 子どもの発達に伴う言葉の獲得・保育者の関わり・豊かな言葉を獲得するための環境について学ぶ。						
学修内容			到達目標			
① 子どもの言葉の習得や発達についての理論を知る。			① 子どもの言葉の習得や発達についての理論を理解する。			
② 実際の保育の場・こどもの姿を知る。			② 実際の保育の場・こどもの姿をイメージできる力を身に付けることができる。			
③ こどもの言葉を育てる保育者の役割・専門性と言葉を獲得するための環境について知る。			③ こどもの言葉を育てる保育者の役割・専門性と言葉を獲得するための環境について理解する。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	日頃から自分の「言葉」について関心を持つように心がけると同時に熱意をもって学ぶ。				
	働きかけ力					
	実行力	自分で立てた目標が達成できるよう行動できる。				
考え抜く力	課題発見力	自分自身の「言葉」が子どもに大きく影響を与えることを自覚することができる。				
	計画力					
	創造力	授業で習得したことを応用して、新しい発想のもと課題に取り組むことができる。				
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	「言葉」を育てるために、相手の気持ちを感じ取り受け止めることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト：新時代の保育双書「保育内容ことば」第2版 成田徹男編 (株)みらい 参考文献：演習 保育内容「ことば」 戸田雅美編著 建帛社						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連：乳児保育、保育内容(人間関係)、児童文化 資格との関連：幼稚園教諭、保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 日頃から自分の「言葉」について関心を持つように心がけること。 言葉を獲得する子どもにとって、保育者が与える影響の大きさを自覚し、自己を見つめ熱意を持って。 「言葉」が育つ道筋を子どもの発達と併せて理論的に理解するよう努力する。 			<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業の内容をノートに整理し、復習しておくこと。 筆記試験、出席状況、授業態度等によって評価をする。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	80	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の発達と言葉獲得の過程を関連づけて理解ができる。 ・実際の保育の場、子どもの姿をイメージすることができる。 ・子どもの言葉を育てる保育者の役割・専門性と言葉を獲得する環境などについて理解ができる。
		②	✓	
		③	✓	
小テスト				
レポート	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りを行い、学びと課題をまとめ、レポートに作成することができる。
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) ・日頃から自分の「言葉」について関心を持つように心がけると同時に熱意をもって学ぶ。 (実行力) ・自分で立てた目標が達成できるよう行動できる。 (課題発見力) ・自分自身の「言葉」が子どもに大きく影響を与えることを自覚することができる。 (創造力) ・固定概念に捉われないで考えることができる。 (発信力) ・発表の仕方を工夫して発表することができる。 (傾聴力) ・「言葉」を育てるために、相手の気持ちを感じ取り受け止めることができる。 (規律性) ・学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの言葉の習得や発達についての理論を理解し、総合的に保育を展開していくための知識、技術を習得する。 ・実際の保育の場・こどもの姿を意欲的に理解する。 ・子どもの言葉を育てる保育者の役割・専門性と言葉を獲得するための環境について具体的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの言葉の習得や発達についての理論を理解する。 ・実際の保育の場・こどもの姿を理解する。 ・子どもの言葉を育てる保育者の役割・専門性と言葉を獲得するための環境について理解する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーションを行う。 ・保育の基本と領域「言葉」について学ぶ。	講義	授業の目的・目標・評価方法について理解ができる。 5領域の「言葉」をどのように捉えたらよいかを考えることができる。	(復習) 保育の基本と「言葉」について復習しておくこと。	45	傾聴力
2週 /	・言語発達の概観(言語獲得の理論・言語の獲得と発達における基礎的要因)を学ぶ。	講義	子どもはどのようにして「ことば」を獲得し、発達させるのか、そのために何が必要なのかを理解することができる。	(復習) 言語発達の概観について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
3週 /	・ことばの機能について学ぶ。	講義	日々の生活の中で何気なく使っている「ことば」に機能について理解することができる。	(復習) 言葉の機能について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
4週 /	・言葉の発達の様相について学ぶ。	講義	子どもが「ことば」を身につけていく言語前期・語彙の発達・会話と読み書きの能力等の発達を理解することができる。	(復習) 言葉の発達の様相について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
5週 /	・子どもの発達と「言葉」の関連(健康・人間関係・環境・表現等の他の領域との関連)について学ぶ。	講義	「ことば」の発達と健康・人間関係・環境・表現等、他の領域の発達とどのように関係にあるのかについて、子どもの発達が総合的に理解することができる。	(復習) 子どもの発達と「言葉」の関連について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
6週 /	・言葉の発達(0歳児の発語の理解と保育者の関わり・環境)について学ぶ。	講義	0歳児の発語の理解と保育者の関わりについて理解することができる。	(復習) 言葉の発達について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
7週 /	・言葉の発達(1～2歳児の発語の理解と保育者の関わり・環境)について学ぶ。	講義	1～2歳児の[ことば]の理解と保育者の関わり・環境について理解することができる。	(復習) 言葉の発達について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
8週 /	・言葉の発達(3～4歳児の発語の理解と保育者の関わり・環境)について学ぶ。	講義	3～4歳児の「ことば」の理解と保育者の関わり・環境について理解ができる。	(復習) 言葉の発達について復習する。	45	課題発見力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・言葉の発達(5～6歳児の発語の理解と保育者の関わり・環境)について学ぶ。	講義	5～6歳児の「ことば」の理解と保育者の関わり・環境について理解することができる。	(復習) 言葉の発達について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
10週 /	・保育所保育指針と幼稚園教育要領を基盤に保育内容・領域「言葉」としての保育の計画と実践を学ぶ。	講義	「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」における領域「言葉」についての関係・保育内容等について理解することができる。	(復習) 「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」を読んでくる。	45	課題発見力 傾聴力
11週 /	・現代社会と「言葉」の発達(小学校との連携)について学ぶ。	講義	情報社会における子どもの「ことば」の発達をいかに育むか、幼保小の一貫性・子どもの発達の連続性を考慮し、「遊びと生活体験」を重視した保育との関連性を理解することができる。	(復習) 現代社会と「言葉」の発達について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
12週 /	・言葉が育つ環境(言葉の発達を促す保育者の役割)を学ぶ。	講義と演習	保育者の「ことば」は、子どもがことばを獲得するうえで保育者の果たす役割は大きい。「ことば」の発達を促す保育者としてのあり方を理解することができる。	(復習) 言葉が育つ環境について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
13週 /	・メディアと言葉について学ぶ。	講義	テレビ・ビデオ・ゲーム等が「ことば」を獲得する子どもにとって、どのような影響を与えるのかを理解することができる。	(復習) メディアと言葉について復習しておくこと。	45	課題発見力 傾聴力
14週 /	・言葉の環境、絵本、紙芝居、手遊びについて学ぶ。	講義と演習	絵本や紙芝居等が子どもの言葉を獲得するうえで欠くことのできない大切なものであることを理解することができる。 絵本・紙芝居・手遊び等の特性を理解することができる。	(復習) 言葉の環境、絵本、紙芝居、手遊びについて復習しておくこと。	45	課題発見力 発信力 傾聴力
15週 /	・言葉の環境、言葉遊びについて学ぶ。 ・授業の振り返りを行う。	講義と演習	子どもが言葉を獲得して語彙を豊かにしていく過程での「言葉遊び」を学び、「ことば」の持つ不思議さや面白さを理解することができる。 今までの授業を振り返り、今までの授業を振り返り、学びや今後の課題をレポートにまとめ提出する。	(復習) 言葉の環境、言葉遊びについて復習しておくこと。今までの学びを振り返り、授業内容の再確認をしておくこと。	45	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力